

沖縄の歴史と基地問題

R1 2017. 11. 13 山下 徹

沖縄の位置

距離では那覇と熊本、那覇と台北は同じ位



沖縄の歴史

2万年以上昔 石垣島に人類がいた

当時大陸と地続きだった台湾から人が航海して来たのだ。

日本人の南方系のルーツと云われる

西暦700年代 遣唐(隋?)使が沖縄に漂着

12世紀～14世紀 グスク時代(群雄割拠)

14世紀 南山、中山、北山の3つの按司が支配。按司は明から王の称号を貰っていた。

1400年代に統一王朝尚王朝が成立

1500年代に宮古、八重山を支配下に

尚王朝は明、東南アジアと日本との間で交易

1609年、薩摩が3000の兵で琉球占領

以後、薩摩藩の支配下で、形式的には独立国として清との朝貢体制を維持

1800年代、フランス、イギリス、アメリカが来航。

1879年(明治12年)琉球王国解体、沖縄県設置。清と日本で琉球の帰属を交渉。(清は琉球王国が朝貢していたことを理由に主権を主張?)明治政府は宮古八重山を中国に譲る代わりに欧米並みに中国内部で通商できる案を提示。結局、この交渉はまとまらず、日清戦争もあり、琉球の日本帰属が確定。

1914年、第一次世界大戦終結。砂糖価格の暴落で沖縄経済は大打撃。他府県、ハワイ、フィリピンへ多数が移民。

1941年太平洋戦争の開始、沖縄は不沈空母に。1945年春には45の飛行場完成。しかし、日本に飛行機は無く日本軍は持久戦に。地上軍17万に支援部隊を併せて55万で米軍は沖縄攻略作戦を開始。

1945年3月26日、米軍は慶良間諸島に上陸、4月1日読谷に上陸。6月23日に牛島軍司令官が自決。各地で抵抗継続。沖縄県人を除く日本兵72,900人、米兵14,000人が死亡。沖縄人を含めると24万人が死亡。

沖縄全体で45ヶ所の住民収容所が作られた。この間、基地は総面積の14%に、耕地の42%に拡張された。住民の家、田畑、役場、学校を平ならしにして。

1899年、1907年にハーク陸戦条約が締結された。日本も米国も参加。46条で被占領地の住民の私有財産を奪ってはならないと規定されている。

奄美諸島は1946年(昭21)に日本から分離、沖縄占領軍支配下に。1951年祖国復帰署名は14才以上の99.8%に達した。1953年(昭28)に日本に復帰。(サンフランシスコ講和条約は1952年4月28日発効)

沖縄の米軍基地



沖縄の米軍専用施設面積は

18,609 ha = 186 km²

=南区(12.65km² の15倍

沖縄が本土に復帰した1972年(昭47)には全
国の米軍専用施設面積の58.7%が沖縄。
2017年1月1日現在70.6%が沖縄にある。

米兵軍属による犯罪を考えると、住民と米
兵軍属の比率が問題になる。(射爆場な
どは面積は広いが兵軍属は少ない)米兵
軍属の人数の統計は殆ど明らかにされ
ていないが、2013年のデータによると
人口1万人当たりの米兵軍属は

沖縄県 211 人

沖縄県以外では 2.2人

米兵軍属の犯罪と海兵隊の特殊性

海兵隊はイラク、アフガンの地上で活
動。地上で敵と直接対決。敵に遇い攻
撃するのが遅れたら攻撃される。

町を車で走る。敵かと思ったら即発
砲。遅れたら殺されるから。敵かどう
か確認するいとまはない。

アフガンで結婚式や葬式にミサイルが
撃ち込まれた。「誤爆」ではない。これ
らの「式」には聖職者が参加。その聖

職者が「タリバンと関係」という情報が
あったら、殺す。間違った情報であっ
ても、又、参列者が死んでも構わない
が米軍の立場。

それで親戚や友人が殺された人が町に
はうようよ。交通事故を起こして車か
ら降りたら恨みに満ちた目で見られ、
殺されるかも知れない。だから、交通
事故を起こした海兵隊少佐は轢き逃げ
した。

普天間基地

戦前の普天間周辺



普天間は、県立農事試験場、普天間宮(琉球
国王が参拝する)、中頭郡役所、沖縄県
営軽便鉄道の駅が、3つあった。

1945年米軍は民有地を取り上げ、普天間飛
行場を建設。ハーグ陸戦条約違反。

暴力団が違法に他人の土地を奪って組事務
所を作った。それを返せと云ったら、
今より豪勢な事務所を辺野古に作れと
云ったようなもの。



2400mの滑走路

1953年に2700m
に拡大



2005年

1945年、住民は米軍の収容所に押し込め

られていた。生活する手段が無いので、食料は無償で提供されていた。

ところが米軍は食料を有料に変更。住民には米軍基地で働かせた。餓になったら生活できないので米軍にたてつくことは出来なかった。住民は基地の周りにしか住むことが出来なかった。



復帰前の1959年に石川市（現うるま市）の宮森小学校に戦闘機が墜落し、児童11人を含む18人が死亡、210人の重軽傷者を出した。

2004年には沖縄国際大の本館建物にヘリが接触、墜落し炎上した。

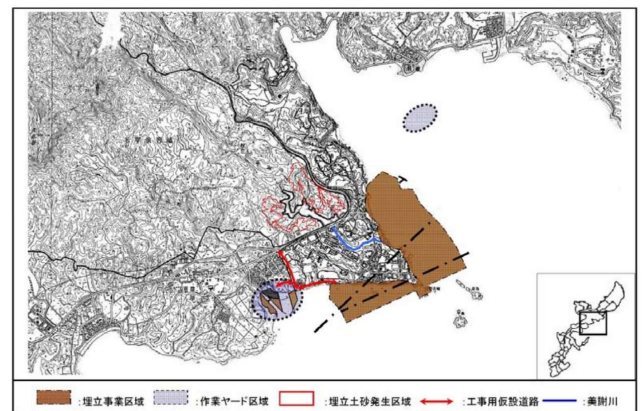
2017年 オスプレイ、ヘリCH53墜落

キャンプシュワブ



約 20.6km²。その1/4が民有地。752人の地主に年間26億円の地代（平均350万円）

【註】沖縄には農地改革がなかった



地図で岬の上側が大浦湾。



以上――